

令和7年度 厚沢部町小・中学校

か て い が く し ゅ う
家庭学習の手引き



目 次

○小学校 1 年生

○小学校 2 年生

○小学校 3 年生

○小学校 4 年生

○小学校 5 年生

○小学校 6 年生

○中学校

・ 国語科

・ 数学科

・ 社会科

・ 理科

・ 英語科

小学校1年生

じかんの めやす 20ふんいじょう

なつやすみ ふゆやすみは 30ふんいじょう

がくしゅうの やくそく



- はじめに がっこうの しゅくだいを しましょう。
- テレビは けして、ゲームなども かたづけてから とりくみましょう。
- がくしゅうをはじめたら、ほかのことをせずに さいごまで とりくみましょう。
- えんぴつを ただしく もち、ただしい しせいで がくしゅうしましょう。

こんな がくしゅうが おすすめ！

【こくご】

- きょうかしょの ぶんしょうを、「、」「。」に きをつけて おおきなこえで 「おんどく」しましょう。
- ひらがな、かたかな、かんじを ただしく ていねいに かきましょう。
- 「えにつき」「につき」を かいてみましょう。
- ほんを たくさん よみましょう。



【さんすう】

- すうじの かきかたや、たしざん、ひきざんの れんしゅうを しましょう。
- きょうかしょの れんしゅうもんだいを もういちど やってみましょう。
- おうちの ひとと、とけいの よみかたの れんしゅうを しましょう。

【そのほかの がくしゅう】

- はなや むしのこと、はたらくひとの ようすなどを しらべましょう。
- なわとびなどの うんどうも がんばりましょう。

がくしゅうが おわったら

- つぎのひの じかんわりを たしかめて もちもの の じゅんぴを しましょう。
- がくしゅうしたことを おうちの ひとに おしえましょう。



きそくただしい せいかつを しよう

- はやね はやおき あさごはん
- テレビをみすぎたり、ゲームなどを しすぎたりしないよう、おうちのひとと ルールをきめましょう。

保護者の皆様へ

小学校1年生で身につけておきたい力



- ①鉛筆を正しく持って字を書くことができる。
- ②ひらがな、カタカナを読んだり、書いたりすることができる。
- ③80字の漢字を全て読んだり、書いたりすることができる。
- ④助詞（て・に・を・は・へ）を正しく使い分けて文章を書くことができる。
- ⑤たし算・ひき算ができる。

小学校2年生

時間のめやす 30分いじょう

夏休み、冬休みは 45分いじょう

学しゅうのやくそく



- はじめに、学校のしゅくだいをしましょう。
- テレビはけして、ゲームなどもかたづけてから、とり組みましょう。
- 学しゅうをはじめたら、ほかのことをせずに、さい後までとり組みましょう。
- えんぴつを正しくもち、正しいしせいで学しゅうしましょう。

こんな がくしゅうが おすすめ！

【国語】

- きょうかしょの文しょうを、「、」「。」に気をつけて、大きな声で音読しましょう。
- ひらがな、かたかな、かん字を正しくていねいにかきましょう。
- 「絵につき」「につき」「作文」を かいてみましょう。
- 本をたくさん読みましょう。



【算数】

- たし算、ひき算のれんしゅうをしましょう。
- かけ算九九をしっかりとおぼえましょう。
- きょうかしょのれんしゅうもんだいを、もういちどやってみましょう。
- おうちの人と、時計の読みかたのれんしゅうをしましょう。

【そのほかの学しゅう】

- 花や虫のこと、はたらく人のようすなどをしらべましょう。
- なわとびなどのうんどうも、がんばりましょう。

学しゅうが終わったら

- つぎの日の時間わりをたしかめ、もちもののじゅんぴをしましょう。
- 学しゅうしたことをおうちの人におしえましょう。



きそく正しい生活をしよう

- はやね はやおき あさごはん
- テレビを見すぎたり、ゲームなどをしすぎたりしないよう、おうちの人とルールをきめましょう。

保護者の皆様へ

小学校2年生で身につけておきたい力



- ①順序よく、話すことができる。
- ②160字の漢字を全て読んだり、かいたりすることができる。
- ③定規を使って、決められた長さの直線を引くことができる。
- ④位をそろえて、筆算で正確に計算することができる。
- ⑤九九をすらすらとすることができる。

小学校3年生

時間のめやす 40分いじょう

夏休み・冬休みは、1時間いじょう

学習のやくそく

- はじめに、学校の宿題をしましょう。
- テレビは消して、ゲームなどもかたづけてから、取り組みましょう。
- 学習を始めたら、他のことをせずに、さい後まで取り組みましょう。
- えんぴつを正しく持ち、正しいしせいで学習しましょう。



こんな学習がおすすめ！

【国語】

- はっきりとした声で教科書を音読しましょう。
- 筆じゅんなどに気をつけながら漢字の練習をしましょう。
- 教科書の文しょうを（、）や（。）、（「 」）に気を付けて書きうつしましょう。
- 分からない言葉などを辞典で調べ、どんな場合に使うかも書いておきましょう。
- 「日記」や「作文」に取り組んでみましょう。
- いろいろな本を読みましょう。



【算数】

- 教科書やドリルを使って、苦手な計算や文章問題をとき直してみましょう。
- 教科書を読み返し、考え方や計算のしかたをしっかりとおぼえましょう。
- 「問題作り」に取り組んでみましょう。

【その他の学習：理科・社会など】

- 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、家族と話題にしてみましょう。
- 都道府県の位置や特色などを調べましょう。
- 自然や生き物とふれあい、くわしくかんさつしてみましょう。
- 学習内容に関係のあることを地図帳、図かん、インターネットなどで調べてみましょう。

学習が終わったら

- 次の日の時間わりをたしかめ、もち物のじゅんぴをしましょう。
- 学習したことをお家の人に教えましょう。



きそく正しい生活をしよう

- 早寝 早起き 朝ごはん
- テレビを見すぎたりゲームなどをしすぎたりしないよう、家族と話し合いルールを決めましょう。

保護者の皆様へ

小学校3年生で身につけておきたい力



- ① 200字の漢字を全て読んだり、書いたりすることができる。
- ② 主語と述語の意味が分かる。
- ③ 国語辞典を正しく使うことができる。
- ④ ローマ字を正しく読み書きすることができる。
- ⑤ 小数のしくみが分かる。
- ⑥ わり算ができる。
- ⑦ コンパスを使い、簡単な図形をかくことができる。

小学校4年生

時間のめやす 50分以上

夏休み・冬休みは、1時間以上

学習の約束

- はじめに、学校の宿題をしましょう。
- テレビは消して、ゲームなどもかたづけてから、取り組みましょう。
- 学習を始めたら、他のことをせずに、さい後まで取り組みましょう。
- えんぴつを正しく持ち、正しいしせいで学習しましょう。



こんな学習がおすすめ！

【国語】

- はっきりとした声で教科書を音読しましょう。
- 筆順などに気をつけながら漢字の練習をしましょう。
- 教科書の文章を（、）や（。）、（「 」）に気を付けて書き写しましょう。
- 分からない言葉などを辞典で調べ、どんな場合に使うかも書いておきましょう。
- 「日記」や「作文」に取り組んでみましょう。
- いろいろな本を読みましょう。



【算数】

- 教科書やドリルを使って、苦手な計算や文章問題をとき直してみましょう。
- 教科書を読み返し、考え方や計算のしかたをしっかりとおぼえましょう。
- 「問題作り」に取り組んでみましょう。

【その他の学習：理科・社会等】

- 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、家族と話題にしてみましょう。
- 都道府県の位置や特色などを調べましょう。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察してみましょう。
- 学習内容に関係のあることを地図帳、図かん、インターネットなどで調べてみましょう。

学習が終わったら

- 次の日の時間割を確かめ
持ち物の準備をしましょう。
- 学習したことを
お家の人に教えましょう。



きそく正しい生活をしよう

- 早寝 早起き 朝ごはん
- テレビを見すぎたりゲームなどをしすぎたりしないよう、家族と話し合いルールを決めましょう。

保護者の皆様へ

小学校4年生で身につけておきたい力



- ① 202字の漢字を全て読んだり、書いたりすることができる。
- ② 文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うことができる。
- ③ 国語辞典や漢字辞典を正しく使うことができる。
- ④ 四則混合の計算ができる。
- ⑤ わり算の筆算、分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑥ 分度器を正しく使うことができる。

小学校5年生

時間のめやす 60分以上

夏休み・冬休みは、1時間30分以上

学習の約束

- はじめに、学校の宿題をしましょう。
- テレビは消して、ゲームなどもかたづけてから、取り組みましょう。
- 学習を始めたら、他のことをせずに、最後まで取り組みましょう。
- えん筆を正しく持ち、正しい姿勢で学習しましょう。



こんな学習がおすすめ！

【国語】

- はっきりとした声で教科書を音読しましょう。
- 筆順などに気をつけながら漢字の練習をしましょう。
- 教科書の文章を（、）や（。）、（「 」）に気を付けて書き写しましょう。
- 分からない言葉などを辞典で調べ、用例も書いておきましょう。
- 「日記」や「作文」に取り組んでみましょう。
- いろいろな本を読みましょう。

【算数】

- 教科書やドリルを使って、苦手な計算や文章問題を解き直してみましょう。
- 教科書を読み返し、考え方や計算のしかたをしっかりと覚えましょう。
- 「問題作り」に取り組んでみましょう。

【その他の学習：理科、社会・外国語等】

- 次の日の予習に挑戦してみましょう。（教科書を読む、問題を解いてみる。）
- 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、家族と話題にしてみましょう。
- 自然や生き物とふれあい、詳しく観察してみましょう。
- 学習内容に関係のあることを地図帳、図かん、インターネットなどで調べてみましょう。
- アルファベットを読んだり、書いたりしよう。



学習が終わったら

- 次の日の時間割を確かめ、持ち物の準備をしましょう。
- 学習したことをお家の人に教えましょう。



規則正しい生活をしよう

- 早寝 早起き 朝ごはん
- テレビを見すぎたりゲームなどをしすぎたりしないよう、家族と話し合いルールを決めましょう。

保護者の皆様へ

小学校5年生で身につけておきたい力



- ① 193字の漢字を全て読んだり、書いたりすることができる。
- ② 今まで学習した漢字を使った熟語の8割を書くことができる。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 分数の四則計算ができる。（異分母の加減計算、分数×整数、分数÷整数）
- ⑤ 割合・百分率を使った問題を解くことができる。

小学校6年生

時間のめやす 70分以上

夏休み・冬休みは、1時間30分以上

学習の約束

- はじめに、学校の宿題をしましょう。
- テレビは消して、ゲームなどもかたづけてから、取り組みましょう。
- 学習を始めたら、他のことをせずに、最後まで取り組みましょう。
- えん筆を正しく持ち、正しい姿勢で学習しましょう。



こんな学習がおすすめ！

【国語】

- はっきりとした声で教科書を音読しましょう。
- 筆順などに気をつけながら漢字の練習をしましょう。
- 教科書の文章を（、）や（。）、（「 」）に気を付けて書き写しましょう。
- 分からない言葉などを辞典で調べ、用例も書いておきましょう。
- 「日記」や「作文」に取り組んでみましょう。
- いろいろな本を読みましょう。



【算数】

- 教科書やドリルを使って、苦手な計算や文章問題を解き直してみよう。
- 教科書を読み返し、考え方や計算のしかたをしっかりとおぼえよう。
- 「問題作り」に取り組んでみよう。

【その他の学習：理科、社会・外国語等】

- 次の日の予習に挑戦してみよう。（教科書を読む、問題を解いてみる。）
- 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、家族と話題にしてみよう。
- 自然や生き物とふれあい、詳しく観察してみよう。
- 学習内容に関係のあることを地図帳、図かん、インターネットなどで調べてみよう。
- アルファベットを読んだり、書いたりしよう。

学習が終わったら

- 次の日の時間割を確かめ、持ち物の準備をしましょう。
- 学習したことをお家の人に教えよう。



規則正しい生活をしよう

- 早寝 早起き 朝ごはん
- テレビを見すぎたりゲームなどをしすぎたりしないよう、家族と話し合いルールを決めよう。

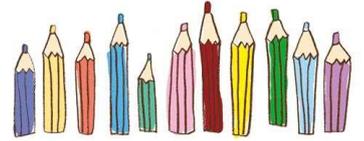
保護者の皆様へ

小学校6年生で身につけておきたい力



- ①小学校で学習する漢字を全て読んだり、書いたりすることができる。
- ②小学校で学習する漢字を使った熟語の8割を書きすることができる。
- ③比例・反比例のしくみが分かる。
- ④分数の四則計算ができる。
- ⑤歴史上の事実や人物について、おおむね説明することができる。
- ⑥理科で使用する道具の名前や使用方法を理解している。

国語科 学習の手引き



－授業中－

- ・傾聴の姿勢!
授業に集中し、話している人の方を見てしっかり聞く。相手の目を見てうなずきながら!
- ・積極的な授業参加!
自分の考えを相手に伝えるということを大切にしましょう。間違えることは良いことです。間違いから学ぶことはたくさんあります。どんどん自分の考えを相手に伝えましょう。発表は大きな声で!
- ・ノートは早く、なおかつ丁寧に!
黒板に書かれた内容を早くしっかりノートに書き写しましょう。また、黒板に書いていない内容でも、大事だと思う事はノートにメモすることが大切です。そのためには先生の話聞きもらさない集中力も必要です。
- ・「疑問」「わからない」はすぐに解決!
授業で疑問に思ったことやわからないことがあれば、すぐに先生や周りの友だちに質問しましょう。わからないままにすることは絶対に避けましょう。『聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥』!!

－家庭学習－

国語という教科は、勉強してもすぐに成果が形となって表れる教科ではありません。成果が出にくいのではなく、成果が出るまでに時間がかかるということです。ただし、時間はかかっても必ず成果は出ます。それでは具体的にどんな勉強法があるのか、ここでいくつか紹介したいと思います。

1 完璧読み (1日5分) に挑戦

読み書き算盤(ソロバン)という言葉があります。昔、日本の寺子屋での勉強というところの3つ以外ありませんでした。しかし、この3つは学習の原点であったようです。その中で国語に関係あるのは読み書きですが、その「読み」に注目してみましょう。完璧読みを実施するのです。

〈完璧読みのルール〉

- ①句読点で切る。(、。では息を切る) ②句読点以外では切らない。(どんなに長かろうと一息で読む)
- ③まちがい読みをしない。(特に漢字の読みに注意) ④つかえ読みをしない。

以上4つを完璧に守った読み(完璧読み)で一定のページ数を読みきれるまで挑戦します。5分間でやれるところまでやって、次の日に引き継ぎましょう。そして、選んだ何ページもある1作品を完璧読みで読み通せたとき、あなたはその文章の内容も、すっかり理解できているはずですよ。

〈完璧読みで育つ力〉

漢字力 ・ 読解力 ・ 語彙力

〈何を使って完璧読みをするのか〉

教科書が一番

2 書写 (視写) (1日15分) に挑戦

次は読み書きの「書き」です。毎日きまった長さの文章を見ながら書くのです。1日目は驚くほど書き写せる文が少ないはずですよ。しかし、1ヶ月間続けることができたなら、その時は初日の15分とは全く違う、はるかに多くの文を書写できるようになるはずですよ。

〈書写(視写)のルール〉

- ①毎日決まった量、違った文章の書写を試みる。 ②対象は名文とする。
- ③時間内に全文を書写できなかった場合、その段階で中止し、翌日は違う文章に挑戦する。

以上3点を守って書写を続けていった場合、書き写しながら、書かれている内容をその場で理解できるようになるはずですよ。また、「使える文型」をいつの間にかマスターし、作文を書くときに使えるようになるはずですよ。

〈書写(視写)で育つ能力〉

漢字力・読解力・語彙力・思考力
名文の「文型」を生かして文章を書く能力
長文を見てもひるまない力

〈何を使って書写(視写)をするのか〉

新聞のコラム欄が一番
(たとえば道新の「卓上四季」、朝日新聞の「天声人語」)

3 読書をする

読書は広い意味での学力づくりに欠かせないものです。読書通(マニア)になることをおすすめします。読書をするのが、たくさんの言葉を覚えること、読解力の向上につながります。

4 問題を解きまくる

国語という教科は「慣れ」も大切です。市販の問題集や学テの過去問など、とにかくたくさん問題に触れ、「慣れ」ましょう。学テの過去問に挑戦したい人は先生に言っていただければいくらでもあげます!!

5 とにかく復習

授業で学習した内容はその日のうちに復習しましょう。漢字や文法などは、暗記の要素が強いので繰り返し取り組むことが重要です。

とにかく1番大切なことは努力を「継続」することです!地道な努力に勝るものなし!

数学科 学習の手引き



◎ 授業中に意識すること

1. 解き方を真似る！

→数学では、例題の数字や文字が変化した問題を解くことが多いです。だから、**解き方がわかるまでひたすら同じように真似をする!!** 違う問題を見て、式に数字を当てはめられたら Good!!

2. 自分用のノート作り！

→ノートが自分の参考書になるのです。自分の弱点や傾向がわかる世界に1つのものです。**途中計算は必ず書く!!** 答えが間違っていたからと**すぐ消しゴムで消さず、近くに赤ペンで正しい解き方を記録する!** 板書以外の大事なポイントが書かれていると、テスト対策などになり、素晴らしいノートとなります! ノートを先生がチェックして、評価にも入れます。丁寧かつ素早く書きましょう。

3. ひたすら問題を解きまくる！

→繰り返し問題を解くことで、やっと解き方がわかります。わかるまでには個人差があります。**問題を見て解き方がイメージできるまで繰り返し解きまくりましょう。** だから、ワークや小テストの勉強などを活用すると良いです! ワークも先生が厳しくチェックします。もちろん評価にも入れます。

<ノートの使い方>

- ① 日にちを入れる。
 - ② 本日の授業の課題(目標)を書く。(赤ペンで囲む)
 - ③ 教科書のページを書く。
 - ④ 重要語句は教科書に赤ペンでアンダーラインを**定規**で引く。
 - ⑤ **途中の計算 (補助計算)** をノートに書く。
 - ⑥ 計算以外の問題の時は、答えがはっきり分かるように書く。A. _____ のように。注)単位!!
 - ⑦ **間違った時は、消しゴムで消さず、赤ペンで直す!** どうして間違ってしまったのか書かれているとなお良い!! 同じ間違いをしないようなノートを作りましょう。
- ※ 間違った問題は、教科書に✓印を付け、正解した問題には、\印を付ける。 等

この7つを守りながら、自分でわかりやすくノートを作ってください。

☆☆☆家庭学習の仕方について☆☆☆

上記でも紹介しましたが、家庭学習では、ひたすら問題を解いて下さい! そのために、その日に習ったことをもう一度解くのもよし。ワークを使うもよし。自分で用意した問題集を解いてもよし。とにかくたくさん問題を解くことで、パターンが見えてくるはず。そうすれば自分のものになった証拠なので、しっかりと力が付いているはず。

そして、早く正確に問題が解けるように家庭学習で訓練して下さい! 試験では時間が限られています。早く問題を解くことができると、難しい問題に時間をかけることができ、見直しもできます。授業だけでは練習量が足りないの、家庭学習では、時間を意識して取り組んでみて下さい。

最後に、数学は知識を積み重ねていく教科なので、自分で定期的に復習して下さい! 人は誰でも時間が経てば忘れてしまいます。授業で何度も復習する時間は取れないので、忘れてしまわないように、各自で繰り返し復習して下さい。



～理想的な流れ～



社会科オリエンテーション

1 授業への心構え・・・社会の出来事に関心を持ち、想像してみよう！

「社会は暗記教科」。そんなイメージの教科。もちろん、テストで点数を取るために暗記は絶対に必要です。けれど、地理・歴史・公民のすべての分野が、自分達の生活に繋がっています。もし、突然引越すことになったらどんな地域か知りたいと思いませんか。世の中の歴史や仕組みを知って、想像することで、自分の生き方も変えることができます。

「なぜそうなったのか?」「だったらこうすれば良いのでは?」など、社会の出来事に関心を持ち、自分ならどう行動するのか想像して下さい。そして、それを言葉にして、積極的にノートに書いたり、発表したりして下さい。いろいろな事柄について、人の意見をよく聞き、それを参考に「自分で考え、自分の意見をもつ」ことが大切なのです。

★ 学習する内容

- ・ 1、2年生・・・「地理」「歴史」を学習します。(2～3ヶ月毎に交互に学習します。)
- ・ 3年生・・・6月くらいまで「歴史」を、その後、公民(政治・経済)を学習します。

2 家庭学習での勉強方法(アドバイス)・・・その日のうちに復習！

問題集(ワーク)に取り組みます。授業で学習したページが毎回宿題となります。思い出せない所は教科書を見ながら問題を解いて下さい。そして、必ず丸付けをして、間違った所やできなかった所は正解を赤で書いて、暗記して下さい。この復習によって知識を確実に定着させることができます。また、宿題の範囲から小テストを実施しますので、テスト勉強をし、返却されたら社会科のファイルに関して定期テスト・学力テスト対策に使って下さい。また、定期的にワークの点検・提出をしてもらいますので、基本的には授業があったその日のうちにワークを終わらせ、ため込むことのないようにして下さい。

テストで良い点数を取るためには必要なことは頑張っただけ覚えなければなりません。教科書の重要な語句(太字)を家庭学習ノートに書き出してまとめ、確実に暗記して下さい。単語カードなどを作って覚えるのも効果的です。

そのためにも、授業に集中してしっかり説明を聞き、理解することが大事です。後で復習をするためにも黒板に書かれたものは「素早く」、「全て」をノートに書き写して下さい。「これ書くんですか」と聞く必要はありません)。また、必要だと思ったことはメモして下さい。

※地理では赤・青以外の色があると便利です。

☆授業では、赤と青のペン、蛍光ペン(赤系)、修正テープを用意して下さい！

3 テスト対策・・・確実に覚えよう！

- ① 一度やった問題を解く(ワーク・小テスト等)
⇒ 答えを隠して重要語句を覚えているか、確認します。重要語句を確実に覚えよう。正確に覚えないと正解にはなりません。
- ② ノート・教科書を使って、「家庭学習ノート」に重要語句をまとめる(地域・時代別に)
⇒ 丸写しではなく、「重要語句」と「できるだけ短い説明」でまとめて書き、暗記する。
※分からない語句や忘れた語句は、教科書で調べる。

★ノートの取り方

※地理と歴史は別のノートを準備します

※30行(A)または、36行(B)のキャンパスノートを使用

- ① 黒板に書いた字は、誰でも読める程度の文字で、できるだけ素早く書き写す。
- ② 1時間で1ページを使って下さい。(次の授業では必ず次のページを使うこと！)
- ③ 下から4行目に線を引く。

※気になったことは
余白にメモしよう！
(資料集の説明など)

★下から4行目
に線を引く。



<p>p46 信長の強さの秘密は何か。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p><u>楽市楽座</u>.....</p>	<p>p48 桃山文化の特色は何か。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>茶の湯.....<u>千利休</u>.....</p> <p><u>桃山文化</u>.....</p>
<p>★ココに「まとめ」を書く。 (または授業の課題の答え)</p>	<p>★ココに「まとめ」を書く。 (授業の課題の答え)</p>

理科 学習の手引き



1 授業中に意識すること

(1) ノートの使い方

- ・ノートは自分の参考書です。自分にとって見やすい・使いやすいものを追求しましょう。
- ・黒板に書かれたことは確実にノート・プリントに写してください。
- ・黒板の内容以外に自分なりに調べたことや、授業中に先生が説明したことをメモするなど、工夫したノートをつくりましょう。

(2) 提出物について

- ・授業中のプリントや問題、実験レポートやスケッチなど提出する宿題があります。期日を守って提出してください。提出物も評価していますので、注意してください。

(3) 授業の取り組み方・ポイント

- ・先生が黒板に書いたことは確実にノート(プリント)に記入する。
- ・チョークの白は黒、赤は赤、青は青と色分けをする(全部鉛筆は✕)。
黄色を使うこともたまにあります、その場合は赤・青以外の色で書いてください。
- ・先生が繰り返して説明することや「重要・ポイントだ」ということもノートにメモしておく。
- ・理科では暗記しなくてはならない内容が多くあるので、まず授業中に1回目の暗記を試みる。

※ 知識を頭に長く残すためには暗記を繰り返すことが一番です!

- ・ワークの問題を解く時は、

① 最初は何も見ずに解く努力をする。

※ 分からないところはとばして最後まで問題を見る

② 次にノート(プリント)や教科書を見て解く。

③ そして最後に答え合わせ! ○付けし、間違った問題は赤ペンで正しい答えを書く。

※ 解答冊子は家庭学習のために配布します。

☆ 授業中の疑問点や分からないこと、気になったことは遠慮せず質問しましょう。

☆ また、勇気をもって授業後に先生に質問するのも効果的です。

(4) 実験や観察について

- ・実験や観察を行う場面では、注意事項をよーく聞いてください(安全のためです)。そして、積極的に活動してください。班員に任せっぱなしにはしないでください。自分でやった方が長く覚えていられます。きちんと理解できるようになるのです。

(5) 理科室を使う上での注意事項

- ・理科室は、色々なものが置いてあります。走り回ったり、暴れたりしないこと。
- ・実験器具は、使い終わったら元の場所に戻すこと。
- ・壊してしまった場合は、そのままにせず、すぐに先生に申し出ること。
- ・机に落書きしないこと。



2 家庭学習について

◎ 学習内容をきちんと身につけるためには、家庭学習が絶対に不可欠です。

◎ 理科は、予習よりも復習に力を入れて取り組んでください。

【家庭学習のやり方】

(1) ノート(プリント)に目を通して、その日の授業や実験を思い出す。

その日に学んだこと重要語句を教科書でチェックする。

(2) 学んだ内容を家庭学習ノートに整理しながら2回目の暗記を行う。

※ 実験や観察を行った時は、①どのように実験・観察を行ったか。②どんな結果になったか。

③何がわかったのか。この3つのポイントを確認し、家庭学習ノートにまとめましょう。

(3) ワークのSTEP①まとめようのページの問題を解いて、どれだけ覚えられているか確認しましょう。

必ず答え合わせ(丸付け・赤ペンで直し)も自分でしてください。



3 日常生活の中で

- ・動物や人体、宇宙などを取り扱っているTV番組や本は結構多いと思います。興味を持った内容のものを自分で見たり読んだりして、自分から積極的に理科に触れるようにしてみましょう。その中で、ふと疑問に思う現象や出来事について自分なりに調べるのも良いでしょう。
- ・理科は「なぜ?」から始まる教科です。今、当たり前のようにわかっていることは、これまでの科学者などが発見した法則や原理が証明されているからです。どんなことでも疑問をもつことから始まります。そして、その疑問を解決していきましょう。

英語科 学習の手引き

1. 家庭学習の必要性

2020年度から小学校の外国語活動の授業が 3.4 年生にも必修化になりました。英語技能は、社会的にも重要性が高まっています。中学英語は、高校や大学受験のためだけでなく社会人になってからでも役立つ日常会話の基礎も含まれています。将来の英語技能の土台ともなる中学英語は今のうちにしっかりと理解することが大切です。

英語の基礎をしっかりと身につけるために、まず必要なことは「土台作り」です。「土台」とは、学校で学習したことを、実際活用できるということです。

そのために必要となるのが家庭学習での復習です。ワークブック等で問題演習することで、理解が深まり覚えたりすることが活用できるようになります。「学校で習った箇所を復習して覚える」、「覚えるまで繰り返す」、この反復練習をしなければ土台は作れません。1日30分程度でも、毎日家庭学習を続けることが大切です。

「高校受験対策は3年生になってから」と、のんびり構えている人がいるかもしれませんが、中学1、2年での家庭学習の積み重ねが高校入試の基礎固めになっています。毎日の積み重ねを大切にしましょう。

2. 基本的な勉強方法

① 暗記する

単語練習、基本表現が書ける、読める、聞けるように何度も書きます。

② 音読練習

英語の勉強は、音読も大切です。教科書の本文を音読していくと記憶に残りやすく、すらすら読めることで自信も付きます。音読すると単語の並びが自然と頭に入るようになり、テストで英作文についての問題が出題されたときに役立ちます。あらすじをあらかじめ理解した上で音読すると、暗記できます。音読は、10回～20回繰り返すとより効果的です。

③ 文法を理解する。

単語や連語を暗記できたら、文法に取りかかりましょう。中学英語における文法の問題は、学校での学習内容から出題されることが多いため、学校のワークや教科書の問題を繰り返し解きます。間違えたところはそのままにせず、なぜ間違えたのかを調べましょう。文法の問題が解けるようになるとテストでも50点以上を得点できるようになります。

④ 暗記ではなく、理解する。

学校のワークを機械的にこなすだけでは、本質的な理解にはつながりません。分からない単語は、すぐ調べる、動詞の使い方などを知るなど「なぜそうなるのか」を一つ一つ理解するようにしましょう。誰かに説明できるのであれば、その文法を理解していることになります。

3. 家庭学習するにあたって

授業前のノート作り、音読練習、単語練習、文法理解、ワークなど問題集、各種テストの直し直し

★ 毎日、学習したことを復習することが、大切です。